

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 ~ 0137		
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	11:30		承認	審査	作成			
	作業件名	【既設】多核種除去設備点検手入れ工事(H29)										
	発生場所	一時保管第二施設						2017/12/14	2017/12/14	2017/12/14		
	作業主管G	処理設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/11/15		測定者			測定器名	ICW、ICWBL		管理番号	137-129	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	3						m ²					
4						m ²						
5						m ²						
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0108
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月10日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h								
	1	1	紙・ウエス類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/10 11:20	0.5 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/10 11:20	3 m ²			1
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	02	03	04	05	
				紙・ウエス類	プラスチック・ポリ・ビニール類	木材類	可燃物その他	—	
②	B	不 燃 物	06	07	08	09	10		
			—	—	—	—	—		
			01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
			C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側土地造成工事									
	発生場所	有床救護所エリア周辺					2017/12/15	2017/12/14	2017/12/14		
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
G 記 入 欄	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	伐採木(枝・葉)	D	02	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無	
	2						m ²				
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
1～3号機 窒素供給設備設置に伴う建物除却工事にて発生。 廃棄物基盤G了済済み。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0109
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月10日		12:30
【保管時の指示事項等】				
直接エリアV持ち込みとなります。 調整後の時間で搬入願います。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事									
	発生場所	有床救護所エリア周辺						2017/12/15	2017/12/14	2017/12/14	
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-128	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	伐採木(幹・根)			D	01	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.09 mSv/h	無
2								m ²			
3								m ²			
4								m ²			
5								m ²			
メモ	1～3号機室素供給設備設置に伴う建物除却工事にて発生。 廃棄物基盤G了済済み。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0110
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。 エリアGへ搬入し瓦礫受付担当者(殿)の 指示に従ってください。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中上						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	残Con処理場エリア						2017/12/15	2017/12/15	2017/12/15
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/12/14	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-GMAD-132
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	鉄筋コンクリートガラ	B	02	D	B	15 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メモ	5m3*3回									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0111
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月10日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月9日		(火)	10:00		承認	審査	作成
	作業件名	発電所構内除草・除伐業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構外(西門周辺エリア)					2017/12/15	2017/12/15	2017/12/15
	作業主管G	総務グループ			監理員			TEL	
	元請会社				担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/12/4	測定者			測定器名	FI-SC		管理番号
									099
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
					① ② ③				β・α 汚染の有無
									β+γ 線量率
1	伐採木(幹・根)			D 01 D A		7 m ²	9 μSv/h	9 μSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
メ モ	2回運搬予定(1回目のみ立会希望)								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0112
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				
エリアGに直接搬入、指示された場所に保管、 保管終了時間の報告をお願いします。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(幹・根)				エリアM	2018/1/9 11:05	3 m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0002

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	発電所構内除草・除伐業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構外(西門周辺エリア)						2017/12/15	2017/12/15	2017/12/15
	作業主管G	総務グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/12/4	測定者			測定器名	FI-SC		管理番号	099
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	伐採木(幹・根)	D	01	D	A	7 m ²	9 μSv/h	9 μSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
2回運搬予定(1回目のみ立会希望)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0113
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月10日		11:00
【保管時の指示事項等】				
エリアGに直接搬入、指示された場所に保管、 保管終了時間の報告をお願いします。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(幹・根)				エリアM	2018/1/10 9:05	3 m ²			
	1	2	伐採木(幹・根)				エリアM	2018/1/10 11:05	4 m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0002

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日	(金)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	発電所構内除草・除伐業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構外(西門周辺エリア)			2017/12/15	2017/12/15	2017/12/15			
	作業主管G	総務グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
G	線量測定年月日	2017/12/4	測定者		測定器名	FI-SC	管理番号	099		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	伐採木(幹・根)	D	01	D	A	7 m ³	9 μ Sv/h	9 μ Sv/h	無
	2						m ³			
入 欄 メ モ	3					m ³				
	4					m ³				
	5					m ³				
2回運搬予定(1回目のみ立会希望)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0114
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月12日		10:30
【保管時の指示事項等】				
エリアGに直接搬入、指示された場所に保管、 保管終了時間の報告をお願いします。				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木(幹・根)				エリアM	2018/1/12 9:00	3 m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0004

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0126
				2017/12/15
調整後保管日時		2018年1月12日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	建物保全関係工事								
	発生場所	福島第一原子力発電所 大型休憩所屋外					2017/12/15	2017/12/15	2017/12/15	
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	NaIシンチレーションカウンタ			
					管理番号	F1-SC-198				
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	機器類・制御盤類			① ② ③	1 m ²	0.13 μSv/h	0.13 μSv/h	無	

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類 ⑧	5 μSv/h	6 μSv/h		エリアC	2018/1/12 10:20	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事									
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/12/15	2017/12/14	2017/12/14	
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364	
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		保管物名	①	②	③						
	1	紙・ウェス類	A	01	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	1.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	3	可燃物その他	A	04	W	B	1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	4	不燃物その他	B	10	W	B	0.5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
5	ゴム類	C	01	W	B	0.1 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0127
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2		ICW	F1-ICW-061
3		ICWBL	F1-ICWBL-120
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/10 8:00	1.8 m ²			2
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/10 8:00	1.7 m ²			2
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/10 8:00	1.2 m ²			2
	4	1	不燃物その他 ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/10 8:10	0.5 m ²			1
	5	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/10 8:00	0.2 m ²			2

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	難燃シート類	C	02	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	7	難燃物その他	C	04	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	8	塩化ビニール類	B	05	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	9	ケーブル類	B	08	W	B	0.1	m ²	7	μ Sv/h	7	μ Sv/h	無		
	10							m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	01	—	0127

保管 実績 記録 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	7	1	難燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/10 8:00	0.01	m ³			3
	8	1	塩化ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/1/10 8:00	0.02	m ³			3
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事								
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/12/15	2017/12/14	2017/12/14
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類			① A 02 ② W ③ B	5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
4					m ²					
5					m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0128
				2017/12/18
調整後保管日時	2018年1月10日			9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/10 9:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0129
調整後保管日時				2018年1月12日 8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事								
	発生場所	GO-17、GP-17エリア								
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	ICW(β)	管理番号	F1-ICW-364	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	金属ガラ			① B 01 ② W ③ B	5 m ²	7 μSv/h	7 μSv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
4					m ²					
5					m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑧	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/12 8:00	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	9:30		承認	審査	作成								
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事															
	発生場所	GO-17、GP-17エリア						2017/12/15	2017/12/14	2017/12/14							
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員	TEL										
	元請会社					担当者	TEL										
	線量測定年月日	2017/12/13	測定者			測定器名	ICW(β)		管理番号	F1-ICW-364							
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率						
	1	木材類			A	03	W	B	5	m ³	7	μSv/h	7	μSv/h	無		
	2									m ³							
	3									m ³							
4									m ³								
5									m ³								
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0130
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月12日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	3 μSv/h		エリアO	2018/1/12 9:05	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却								
	発生場所	H4エリア					2017/12/18	2017/12/18	2017/12/18	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICWBL-15	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	フレコンパック	A	04	D	B	5 m ³	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ³			
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0156
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月10日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フレコンパック	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/10 8:10	4.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005																																																																																																												
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	9:00		承認	審査	作成																																																																																																													
	作業件名	H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却																																																																																																																				
	発生場所	H4エリア						2017/12/18	2017/12/18	2017/12/18																																																																																																												
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL																																																																																																													
	元請会社					担当者			TEL																																																																																																													
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-15																																																																																																												
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																										
	1	金属がら	B	01	D	B	7 m ³	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無																																																																																																												
	2						m ³																																																																																																															
	3						m ³																																																																																																															
4						m ³																																																																																																																
5						m ³																																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年1月10日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td>F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容				測定日	2018年1月10日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICWBL	F1-ICWBL-55	2				3				4																																																																																		
線量測定内容																																																																																																																						
測定日	2018年1月10日																																																																																																																					
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																																																			
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																																																																																																			
2																																																																																																																						
3																																																																																																																						
4																																																																																																																						
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																																										
	1	1	金属がら ⑧	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアG	2018/1/10 11:10	5 m ³			1																																																																																																										
									m ³																																																																																																													
									m ³																																																																																																													
									m ³																																																																																																													
									m ³																																																																																																													
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カ テ ゴ リ</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="5">A</th> <th rowspan="5">可燃物</th> <th>01</th> <th>紙・ウエス類</th> <th>02</th> <th>プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th>03</th> <th>木材類</th> <th>04</th> <th>可燃物その他</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>06</th> <th>—</th> <th>07</th> <th>—</th> <th>08</th> <th>—</th> <th>09</th> <th>—</th> <th>10</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">B</th> <th rowspan="3">不燃物</th> <th>01</th> <th>金属ガラ</th> <th>02</th> <th>コンクリートガラ</th> <th>03</th> <th>機器類・制御盤類</th> <th>04</th> <th>土砂類</th> <th>05</th> <th>塩化ビニール類</th> </tr> <tr> <th>06</th> <th>保温材</th> <th>07</th> <th>石綿含有物</th> <th>08</th> <th>ケーブル類</th> <th>09</th> <th>アスファルトガラ</th> <th>10</th> <th>不燃物その他</th> </tr> <tr> <th>11</th> <th>フランジタンク本体</th> <th>12</th> <th>フランジタンク付属品</th> <th>13</th> <th>—</th> <th>14</th> <th>—</th> <th>15</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">C</th> <th rowspan="2">難燃物</th> <th>01</th> <th>ゴム類</th> <th>02</th> <th>難燃シート類</th> <th>03</th> <th>ホース類</th> <th>04</th> <th>難燃物その他</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>D</th> <th>伐採木</th> <th>01</th> <th>伐採木(幹・根)</th> <th>02</th> <th>伐採木(枝・葉)</th> <th>03</th> <th>—</th> <th>04</th> <th>—</th> <th>05</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th colspan="2">②</th> <th colspan="2">状 態</th> <th colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</th> <th colspan="2">③</th> <th colspan="2">履 歴</th> <th colspan="3">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="13"> 注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、$\beta + \gamma$線量率欄に「$\beta + \gamma$」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、$\beta + \gamma$線量率の記載不要。 </td> </tr> </tbody> </table>													※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。												
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05					—																																																																																																					
				06	—	07	—	08	—	09	—	10					—																																																																																																					
				B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04					土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																																			
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09					アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																																			
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																																							
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																																											
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																																									
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																												
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																																																						

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却										
	発生場所	H4エリア										
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-15		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	フレコンパック			A	04	D	B	5 m ³	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2								m ³			
	3								m ³			
4								m ³				
5								m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0158
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-061	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フレコンパック	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/10 10:00	4.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0005

作業 主 管 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却									
	発生場所	H4エリア						2017/12/18	2017/12/18	2017/12/18	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICWBL-15	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ブルーシート	A	02	D	B	5 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0159
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月10日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ブルーシート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/10 11:15	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No. 6013803 - 0005					
作業主管理G記入欄	保管希望日時		2018年1月10日				(水)		13:00				承認		審査		作成			
	作業件名		H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却																	
	発生場所		H4エリア												2017/12/18		2017/12/18		2017/12/18	
	作業主管G		貯留設備土木グループ						監理員				TEL							
	元請会社								担当者				TEL							
	線量測定年月日		2017/12/15		測定者				測定器名		ICW		管理番号		F1-ICWBL-15					
G記入欄	No.		保管物名				※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率		
							① ② ③													
	1		ブルーシート				A 02 D B			5 m ²		0.003 mSv/h		0.003 mSv/h		無				
	2									m ²										
	3									m ²										
	4									m ²										
5									m ²											

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受 付 番 号											
廃2018		—		01		—		0160		2017/12/18	
調整後保管日時				2018年1月10日				13:00			
【保管時の指示事項等】											

線量測定内容											
測定日		2018年1月10日									
測定No.	氏名			測定器		管理番号					
1				ICW		F1-ICW-061					
2											
3											
4											

保管実績記入欄	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		ブルーシート		2 μ Sv/h		2 μ Sv/h				エリアO		2018/1/10 12:30		3.1 m ²						1	
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013202 - 0001	
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月9日		(火)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	#1カバー工事(瓦礫撤去工事)									
	発生場所	1号機北西ヤード・中継ヤード / 物揚場 / 第2地組ヤード						2017/12/18	2017/12/18	2017/12/15	
	作業主管G	1号機建築グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/12		測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICWBL-49
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	東電殿所有6m3コンテナ:TB-171		A	02	W	B	5 m ³	0.003 mSv/h	0.02 mSv/h	β有 0.6 mSv/h
	2							m ³			
	3							m ³			
4							m ³				
5							m ³				
※ 6m3コンテナ内容物:可燃物(紙類・ポリ類・木材類)、不燃物(金属ガラ・防災シート・活性炭類) ※ 瓦礫を透明ビニール袋に収納してますので結露で湿気あります。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0161
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月9日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
	1	1	東電殿所有6m3コンテナ:TB-171	4	μSv/h	200	μSv/h	200	μSv/h	エリアX	2018/1/9 8:00	6 m ³		TB-171	1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有的时候、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0011	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	仮)H6エリアタンク基礎設置並びに関連除却									
	発生場所	H6タンクエリア						2017/12/15	2017/12/15	2017/12/15	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/6	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	紙・ウエス類	A	01	W	A	1 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	A	2 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	3	可燃その他	A	04	W	A	2 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
4	金属ガラ	B	01	W	A	8 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無		
5	不燃その他	B	10	W	A	3 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無		
メ モ	トラック3台で搬入										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0162
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月10日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容					
測定日	2018年1月10日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICWBL	F1-ICWBL-55		
2		ICW	F1-ICW-061		
3					
4					

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
1	1	紙・ウエス類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/10 8:35	1.5 m ²			2	
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/10 8:35	1.3 m ²			2	
3	1	可燃その他	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/10 8:35	1.2 m ²			2	
5	1	不燃その他 ③	5	μSv/h	6	μSv/h			エリアC	2018/1/10 9:00	3 m ²			1	
											m ²				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木										
		②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票					計上No. 6013803 - 0011	
---------------------	--	--	--	--	----------------------	--

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	仮)H6エリアタンク基礎設置並びに関連除却									
	発生場所	H6タンクエリア						2017/12/15	2017/12/15	2017/12/15	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/6		測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙・ウエス類	A	01	W	A	1 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	A	2 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
	3	可燃その他	A	04	W	A	2 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
4	金属ガラ	B	01	W	A	8 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無		
5	不燃その他	B	10	W	A	3 m ²	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無		
メ モ	トラック3台で搬入										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0163	2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月12日			8:30
【保管時の指示事項等】					
時間調整しています。よろしくお願いします。					

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	4	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/1/12 8:20	8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木										
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013801 - 0006																																																																									
作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月9日		(火)	8:00		承認	審査	作成																																																																										
	作業件名	1F 増設処理装置配管工事																																																																																	
	発生場所	4号機放水口						2017/12/18	2017/12/15	2017/12/15																																																																									
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員			TEL																																																																										
	元請会社					担当者			TEL																																																																										
	線量測定年月日	2017/12/11		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	1F-ICBWL-69																																																																								
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																																																								
	1	コンクリートガラ		B	02	D	A	2	m ²	0.04	mSv/h	0.1	mSv/h																																																																						
	2								m ²																																																																										
	3								m ²																																																																										
4								m ²																																																																											
5								m ²																																																																											
メモ	β 汚染あり。 Xヤードに運搬することで調整済み。																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">線量測定内容</th> </tr> <tr> <td>測定日</td> <td colspan="9">2018年1月9日</td> </tr> <tr> <td>測定No.</td> <td>氏名</td> <td>測定器</td> <td colspan="7">管理番号</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="7">F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> </thead> </table>														線量測定内容										測定日	2018年1月9日									測定No.	氏名	測定器	管理番号							1		ICWBL	F1-ICWBL-55							2										3										4									
線量測定内容																																																																																			
測定日	2018年1月9日																																																																																		
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																																																																
2																																																																																			
3																																																																																			
4																																																																																			
保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																				
	1	1	コンクリートガラ	5	μ Sv/h	80	μ Sv/h	260	μ Sv/h	エリアX	2018/1/9 8:10	2	m ²		1																																																																				
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																		
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																						
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																						
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																						
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																						
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																						
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																						
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																						
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																						
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																							
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																												
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																			

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013801 - 0006																													
作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月9日			(火)	11:00			承認	審査	作成																														
	作業件名	1F 増設処理装置配管埋設工事																																							
	発生場所	4号機放水口						2017/12/18	2017/12/15	2017/12/15																															
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員			TEL																																
	元請会社					担当者			TEL																																
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者				測定器名	ICWBL		管理番号	1F-ICBWL-69																														
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																													
	1	不燃物その他				B	10	D	A	1.5 m ²	0.04 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h																											
	2	ケーブル				B	08	D	A	0.5 m ²	0.04 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h																											
	3	土砂				B	04	D	A	2.5 m ²	0.04 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h																											
4									m ²																																
5									m ²																																
メ モ	β 汚染あり。 Xヤードに運搬することで調整済み。																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="3">2018年1月9日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td>F1-ICWBL-55</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														線量測定内容				測定日	2018年1月9日			測定No.	氏名	測定器	管理番号	1		ICWBL	F1-ICWBL-55	2				3				4			
線量測定内容																																									
測定日	2018年1月9日																																								
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																						
1		ICWBL	F1-ICWBL-55																																						
2																																									
3																																									
4																																									
保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																													
	1	1	不燃物その他	5 μSv/h	120 μSv/h	350 μSv/h	エリアX	2018/1/9 10:30	1.5 m ²			1																													
	2	1	ケーブル	5 μSv/h	120 μSv/h	300 μSv/h	エリアX	2018/1/9 10:30	0.5 m ²			1																													
	3	1	土砂	5 μSv/h	400 μSv/h	900 μSv/h	エリアX	2018/1/9 10:30	2.5 m ²			1																													
									m ²																																
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																								
※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																												
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																												
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																												
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																												
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																												
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																												
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																												
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																												
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																												
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0006

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 増設処理装置配管埋設工事								
	発生場所	4号機放水口						2017/12/18	2017/12/15	2017/12/15
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2017/12/11		測定者			測定器名	ICWBL		
								管理番号 1F-ICBWL-69		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃物その他	B	10	D	A	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β有 0.05 mSv/h
2	金属ガラ	B	01	D	A	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β有 0.03 mSv/h	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	β汚染あり。 Xヤードに運搬することで調整済み。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0168
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他	5 μSv/h	20 μSv/h	45 μSv/h	エリアX	2018/1/10 8:00	1.5 m ²			1
	2	1	金属ガラ	5 μSv/h	170 μSv/h	200 μSv/h	エリアX	2018/1/10 8:00	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染のある場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013801 - 0006						
作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	11:00		承認	審査	作成							
	作業件名	1F 増設処理装置配管埋設工事														
	発生場所	4号機放水口						2017/12/18	2017/12/15	2017/12/15						
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員			TEL							
	元請会社					担当者			TEL							
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	1F-ICBWL-69						
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率				
			①	②	③											
	1	可燃物その他	A	04	D	A	3 m ³	0.01 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h					
	2	伐採木	A	03	D	A	2 m ³	0.04 mSv/h	0.7 mSv/h	β 有	0.8 mSv/h					
	3						m ³									
	4						m ³									
5						m ³										
β 汚染あり。 Xヤードに運搬することで調整済み。																
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他		5 μSv/h		90 μSv/h		120 μSv/h		エリアX	2018/1/10 11:00	3 m ³			1
	2	1	伐採木		5 μSv/h		80 μSv/h		120 μSv/h		エリアX	2018/1/10 11:00	2 m ³			1
													m ³			
													m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メ モ																

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0169	2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月10日		11:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容				
測定日	2018年1月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票				計上No.	6013801 - 0006
---------------------	--	--	--	-------	----------------

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F 増設処理装置配管埋設工事									
	発生場所	4号機放水口					2017/12/18	2017/12/15	2017/12/15		
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	1F-ICBWL-69		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	土砂	B	04	D	A	3 m ³	0.01 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
	2						m ³				
	3						m ³				
4						m ³					
5						m ³					
メモ	β 汚染あり。 Xヤードに運搬することで調整済み。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0170
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月12日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	40 μ Sv/h	エリアX	2018/1/12 8:10	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0006

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F 増設処理装置配管埋設工事									
	発生場所	4号機放水口						2017/12/18	2017/12/15	2017/12/15	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	1F-ICWBL-69	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	土砂		B	04	D	A	3 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	0.06 mSv/h
2							m ³				
3							m ³				
4							m ³				
5							m ³				
メモ	β汚染あり。 Xヤードに運搬することで調整済み。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0171
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月12日		11:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整しています。よろしくお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂	5 μSv/h	20 μSv/h	40 μSv/h	エリアX	2018/1/12 11:35	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0026

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	HTI浄化ライン増設工事 (1F-1~4号機 タービン建屋浄化ライン他設置工事)									
	発生場所	棟						2017/12/18	2017/12/18	2017/12/18	
	作業主管G	処理設備グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/11/15	測定者			測定器名	ICW, ICWBL		管理番号	F1-ICW-222, F1-ICWBL-28	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	発電機	B	10	D	B	1 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	発電機	B	10	D	B	3 m	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m				
4						m					
5						m					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0175
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				
バッテリーは取り除いてください。 また、燃料・オイル(危険物)は抜いて搬入願います。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	発電機⑧	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/1/10 10:10	1 m			1
2	1	1	発電機⑧	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/1/10 10:10	3 m			1
									m			
									m			
									m			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013707 - 0026

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	HTI浄化ライン増設工事 (1F-1~4号機 タービン建屋浄化ライン他設置工事)										
	発生場所	棟						2017/12/18	2017/12/18	2017/12/18		
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/15	測定者			測定器名	ICW, ICWBL		管理番号	リ-ICW-222, F1-ICWBL-20		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	発電機用架台			B	10	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	発電機用オイルパン			B	10	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3											
4												
5												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0182
				2017/12/18
調整後保管日時		2018年1月12日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-025	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発電機用架台②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/12 9:15	2 m ²			1
	2	1	発電機用オイルパン②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/12 9:15	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0136

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日	(水)	11:30	承認	審査	作成				
	作業件名	【高性能・増設】多核種除去設備点検手入れ工事(H29)									
	発生場所	既設多核種									
	作業主管G	処理設備グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2017/11/27	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	可燃物(紙・ウエス類)	A	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	可燃物(ビニール類)	A	02	D	A	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	可燃物(プラスチック類)	A	02	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	可燃物(発砲スチロール)	A	02	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	5						m ²				
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0195
				2017/12/19
調整後保管日時		2018年1月10日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0136

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	【高性能・増設】多核種除去設備点検手入れ工事(H29)										
	発生場所	既設多核種						2017/12/15	2017/12/15	2017/12/15		
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/27		測定者			測定器名	電離箱式サーバイメータ	管理番号	FI-ICW-167FI-ICWRW-104		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	難燃物(ピンクシート)		C	04	D	A	4	m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	可燃物(ビニール類)		A	02	D	A	1	m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3								m ²			
4								m ²				
5								m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0196
				2017/12/19
調整後保管日時		2018年1月12日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1				
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0136														
作業主	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	11:30		承認	審査	作成															
	作業件名	【高性能・増設】多核種除去設備点検手入れ工事(H29)																						
	発生場所	既設多核種						2017/12/15	2017/12/15	2017/12/15														
	作業主管G	処理設備グループ				監理員			TEL															
	元請会社					担当者			TEL															
管	線量測定年月日	2017/11/27		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-167F1-ICWRW-104													
	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
				①	②	③																		
				1	難燃物(ピンクシート)	C								04	D	A	4	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
				2	可燃物(ビニール類)	A								02	D	A	1	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
3							m ²																	
4							m ²																	
5							m ²																	
メ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																							
実	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.												
メ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載																							
※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—											
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—											
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類											
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他											
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—											
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—											
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—											
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—											
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—											
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No.		6013803 - 0005							
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月9日			(火)	8:00			承認	審査	作成								
	作業件名	H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却																	
	発生場所	H4エリア						2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19									
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL										
	元請会社					担当者			TEL										
	線量測定年月日	2017/12/18		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04								
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率							
	1	可燃物その他				A	04	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無						
	2	プラスチック・ポリエステル				A	02	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無						
	3	紙・ダンボール・ウェス				A	01	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無						
4	金属・不燃ゴミ				B	01	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無							
5	木材				A	02	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																			
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.			
	1	1	可燃物その他		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO	2018/1/9 8:00	0.5 m ²			2			
	2	1	プラスチック・ポリエステル		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO	2018/1/9 8:00	0.8 m ²			2			
	3	1	紙・ダンボール・ウェス		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO	2018/1/9 8:00	0.3 m ²			2			
	4	1	金属・不燃ゴミ②		5 μSv/h		6 μSv/h				エリアC	2018/1/9 8:05	0.1 m ²			1			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																		
	メ モ																		
	※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類		02	プラスチック・ポリビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
					06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
				B	不 燃 物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類
06						保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
11			フランジタンク本体			12	フランジタンク付属品		13	—		14	—		15	—			
01			ゴム類			02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—			
C			難 燃 物	01	伐 採 木		02	伐採木(幹・根)		03	—		04	—		05	—		
				01	伐採木(枝・葉)		02	—		03	—		04	—		05	—		
D		伐 採 木	01	伐 採 木		02	伐 採 木		03	伐 採 木		04	伐 採 木		05	伐 採 木			
			01	伐 採 木		02	伐 採 木		03	伐 採 木		04	伐 採 木		05	伐 採 木			
②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」											
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																			
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																			
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																			

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
廃2018	—	01	—	0201	2017/12/19
調整後保管日時		2018年1月9日		8:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICW-019
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005	
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月9日		(火)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H4エリアタンク基礎設置並びに関連除却									
	発生場所	H4エリア						2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	可燃物その他	A	04	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリエステル	A	02	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	紙・ダンボール・ウエス	A	01	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4	金属・不燃ゴミ	B	01	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
5	木材	A	02	D	B	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0202
				2017/12/19
調整後保管日時		2018年1月9日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/9 11:30	0.3 m ³			2
2	1	1	プラスチック・ポリエステル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/9 11:30	0.5 m ³			2
3	1	1	紙・ダンボール・ウエス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/9 11:30	0.6 m ³			2
4	1	1	金属・不燃ゴミ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/9 11:40	1 m ³			1
5	1	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/9 11:30	1 m ³			2

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013803 - 0024												
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月10日			(水)		9:00			承認		審査		作成									
	作業件名		仮)H3エリアタンク基礎設置並びに関連除却																					
	発生場所		H3エリア										2017/12/19		2017/12/19		2017/12/19							
	作業主管G		貯留設備土木グループ					監理員					TEL											
	元請会社							担当者					TEL											
	線量測定年月日		2017/12/18		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		T-ICWBL-04									
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率							
	1		タンク副部材			B 12 D B			1 m ²		0.02 mSv/h		0.02 mSv/h		無									
	2		金属・不燃ゴミ			B 01 D B			1 m ²		0.02 mSv/h		0.02 mSv/h		無									
	3								m ²															
4								m ²																
5								m ²																
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																								
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	2		1		金属・不燃ゴミ⑧		5 μ Sv/h		5 μ Sv/h				エリアC		2018/1/10 8:30		1 m ²						1	
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																							
	メ モ																							
	※カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—								
06 —						07 —		08 —		09 —		10 —												
B 不燃物				01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類												
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他												
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —												
C 難燃物				01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		—										
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05		—										
D 伐採木																								
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」														
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0024

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	12:00		承認	審査	作成		
	作業件名	仮)H3エリアタンク基礎設置並びに関連除却									
	発生場所	H3エリア						2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	可燃物その他	A	04	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリエステル	A	02	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3	紙・ダンボール・ウエス	A	01	D	B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
4	金属・不燃ゴミ	B	01	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
5	木材	A	02	D	B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0204
				2017/12/19
調整後保管日時		2018年1月10日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/10 11:50	1 m ²			2
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/10 11:50	1.4 m ²			2
	3	1	紙・ダンボール・ウエス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/10 11:50	0.3 m ²			2
	4	1	金属・不燃ゴミ②	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/1/10 12:10	0.5 m ²			1
	5	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/10 11:50	1 m ²			2
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	01	—	0204

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0005			
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	9:00		承認	審査	作成				
	作業件名	H4南エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事											
	発生場所	H4エリア						2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19			
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	可燃物その他			A 04	D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無			
	2	プラスチック・ポリエステル			A 02	D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無			
	3	紙・ダンボール・ウェス			A 01	D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無			
4	金属・不燃ゴミ			B 01	D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無				
5	木材			A 03	D B	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/12 9:00	0.2 m ²			2	
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/12 9:00	0.4 m ²			2	
	3	1	紙・ダンボール・ウェス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/12 9:00	0.3 m ²			2	
	4	1	金属・不燃ゴミ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/12 8:30	1 m ²			1	
	5	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/12 9:00	2 m ²			2	
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0024

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	12:00		承認	審査	作成			
	作業件名	H3エアータンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	H4エリア						2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
メ モ	線量測定年月日	2017/12/18		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③								
	1	可燃物その他			A	04	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリエステル			A	02	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	3	紙・ダンボール・ウェス			A	01	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	4	金属・不燃ゴミ			B	01	D	B	1 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
	5	木材			A	03	D	B	2 m ³	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0206
				2017/12/19
調整後保管日時		2018年1月12日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	9 μ Sv/h		エリアO	2018/1/12 11:45	1.3 m ³			2
	2	1	プラスチック・ポリエステル	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/12 11:45	0.6 m ³			2
	3	1	紙・ダンボール・ウェス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/12 11:45	0.1 m ³			2
	4	1	金属・不燃ゴミ ③	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/1/12 12:00	1 m ³			1
	5	1	木材	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/1/12 11:45	2 m ³			2

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6012312 - 0004

作業主管理票	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	11:30	承認	審査	作成		
	作業件名	JV排水移送業務(1F構内)								
	発生場所	車両汚染検査場					2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19	
	作業主管G	放射線安全グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123
	No.	保管物名	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	金属ガラ	B	01	D	B	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2018	—	01	—	0209
調整後保管日時				2018年1月12日 11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年1月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/1/12 11:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0010			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月10日		(水)	12:00		承認	審査	作成				
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事											
	発生場所	H5タンクエリア						2017/12/22	2017/12/22	2017/12/22			
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2017/11/28	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-58			
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	段ボール・ウエス類			A	01	W	A	2 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	2	ビニール類、粘着テープ、プラスチック製品			A	02	W	A	2 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	3	養生マット			C	01	W	A	3 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h
4	土嚢袋・コンパネ			A	04	W	A	3 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h	
5	ボルト類、仮堰			B	01	W	A	6 m ²	10 μSv/h	0.2 mSv/h	β 有	1 mSv/h	
【線量測定結果反映】8m3コンテナ: 2基 (No.18,19)													

線量測定内容												
測定日	2018年1月10日											
測定No.	氏名	測定器	管理番号									
1		ICWBL	F1-ICWBL-105									
2												
3												
4												

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h						
1	1		10m3コンテナ	25	μSv/h	25	μSv/h	28	μSv/h	エリアW1	2018/1/10 12:00	10 m ³		OK-0131	1
1	2		10m3コンテナ	25	μSv/h	25	μSv/h	25	μSv/h	エリアW1	2018/1/10 12:00	10 m ³		A0104	1
												m ³			
												m ³			
												m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013405 - 0009

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月9日		(火)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	1F-6MCUWF/Dシーケンスコントローラ修理工事(第4回)										
	発生場所	5・6号機 C/B 2FL 計算機室ほか				2017/12/20	2017/12/20	2017/12/20				
	作業主管G	計装設備グループ			監理員	TEL						
	元請会社				担当者	TEL						
	線量測定年月日	2017/12/15	測定者		測定器名	γシンチレーション		管理番号				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無				
		①	②	③				β + γ 線量率				
	1	ケーブル類(制御ケーブルほか)	B	08	D	A	3 m ²	0.3 μSv/h	0.3 μSv/h	無		
	2	不燃物その他	B	10	D	A	0.5 m ²	0.3 μSv/h	0.4 μSv/h	無		
	3						m ²					
	4						m ²					
	5						m ²					
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0229
				2017/12/20
調整後保管日時		2018年1月9日		9:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整してあります。よろしくお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-019
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル類(制御ケーブルほか) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/9 9:30	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013405 - 0013																																																																																												
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年1月9日		(火)	10:00		承認	審査	作成																																																																																												
	作業件名		1F-6Mプロセス計算機取替同関連除却工事																																																																																																			
	発生場所		5・6号機 C/B 2FL 計算機室他																																																																																																			
	作業主管G		計装設備グループ				監理員		TEL																																																																																													
	元請会社						担当者		TEL																																																																																													
	線量測定年月日		2017/12/15		測定者		測定器名		管理番号																																																																																													
							γシンチレーション		F1-SC-210																																																																																													
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率																																																																																												
	1		機器類・制御盤類(盤、機器類ほか)			B 03 D A		2.5 m ²		0.3 μSv/h																																																																																												
2																																																																																																						
3																																																																																																						
4																																																																																																						
5																																																																																																						
線量測定内容																																																																																																						
測定日		2018年1月9日																																																																																																				
測定No.		氏名		測定器		管理番号																																																																																																
1				ICW		F1-ICW-019																																																																																																
2																																																																																																						
3																																																																																																						
4																																																																																																						
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.																																																																																	
	1	1	機器類・制御盤類(盤、機器類ほか) ③		5 μSv/h		6 μSv/h				エリアC		2018/1/9 9:35		2.5 m ²						1																																																																																	
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																						
※カテゴリ																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">A</th> <th colspan="2">可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ホリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05</th> <th colspan="2">—</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">B <td colspan="2">不燃物 <td colspan="2">01 金属ガラ <td colspan="2">02 コンクリートガラ <td colspan="2">03 機器類・制御盤類 <td colspan="2">04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td></td></td></td></tr> <tr> <td colspan="2">C <td colspan="2">難燃物 <td colspan="2">01 保温材 <td colspan="2">07 石綿含有物 <td colspan="2">08 ケーブル類 <td colspan="2">09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td></td></td></td></tr> <tr> <td colspan="2">D <td colspan="2">伐採木 <td colspan="2">01 フランジタンク本体 <td colspan="2">12 フランジタンク付属品 <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td></tr> <tr> <td colspan="2">②</td> <td colspan="2">状態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③</td> <td colspan="2">履歴</td> <td colspan="2">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>																							A		可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—		B <td colspan="2">不燃物 <td colspan="2">01 金属ガラ <td colspan="2">02 コンクリートガラ <td colspan="2">03 機器類・制御盤類 <td colspan="2">04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td></td></td>		不燃物 <td colspan="2">01 金属ガラ <td colspan="2">02 コンクリートガラ <td colspan="2">03 機器類・制御盤類 <td colspan="2">04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td></td>		01 金属ガラ <td colspan="2">02 コンクリートガラ <td colspan="2">03 機器類・制御盤類 <td colspan="2">04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td>		02 コンクリートガラ <td colspan="2">03 機器類・制御盤類 <td colspan="2">04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td></td></td>		03 機器類・制御盤類 <td colspan="2">04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td></td>		04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td>		05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td>		—		C <td colspan="2">難燃物 <td colspan="2">01 保温材 <td colspan="2">07 石綿含有物 <td colspan="2">08 ケーブル類 <td colspan="2">09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td></td></td>		難燃物 <td colspan="2">01 保温材 <td colspan="2">07 石綿含有物 <td colspan="2">08 ケーブル類 <td colspan="2">09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td></td>		01 保温材 <td colspan="2">07 石綿含有物 <td colspan="2">08 ケーブル類 <td colspan="2">09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td>		07 石綿含有物 <td colspan="2">08 ケーブル類 <td colspan="2">09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td></td></td>		08 ケーブル類 <td colspan="2">09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td></td>		09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td>		10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td>		—		D <td colspan="2">伐採木 <td colspan="2">01 フランジタンク本体 <td colspan="2">12 フランジタンク付属品 <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">—</td> </td></td></td>		伐採木 <td colspan="2">01 フランジタンク本体 <td colspan="2">12 フランジタンク付属品 <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">—</td> </td></td>		01 フランジタンク本体 <td colspan="2">12 フランジタンク付属品 <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">—</td> </td>		12 フランジタンク付属品 <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">—</td>		13		14		15		—		②		状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
A		可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—																																																																																								
B <td colspan="2">不燃物 <td colspan="2">01 金属ガラ <td colspan="2">02 コンクリートガラ <td colspan="2">03 機器類・制御盤類 <td colspan="2">04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td></td></td>		不燃物 <td colspan="2">01 金属ガラ <td colspan="2">02 コンクリートガラ <td colspan="2">03 機器類・制御盤類 <td colspan="2">04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td></td>		01 金属ガラ <td colspan="2">02 コンクリートガラ <td colspan="2">03 機器類・制御盤類 <td colspan="2">04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td>		02 コンクリートガラ <td colspan="2">03 機器類・制御盤類 <td colspan="2">04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td></td></td>		03 機器類・制御盤類 <td colspan="2">04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td></td>		04 土砂類 <td colspan="2">05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td> </td>		05 塩化ビニール類 <td colspan="2">—</td>		—																																																																																								
C <td colspan="2">難燃物 <td colspan="2">01 保温材 <td colspan="2">07 石綿含有物 <td colspan="2">08 ケーブル類 <td colspan="2">09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td></td></td>		難燃物 <td colspan="2">01 保温材 <td colspan="2">07 石綿含有物 <td colspan="2">08 ケーブル類 <td colspan="2">09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td></td>		01 保温材 <td colspan="2">07 石綿含有物 <td colspan="2">08 ケーブル類 <td colspan="2">09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td></td></td></td>		07 石綿含有物 <td colspan="2">08 ケーブル類 <td colspan="2">09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td></td></td>		08 ケーブル類 <td colspan="2">09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td></td>		09 アスファルトガラ <td colspan="2">10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td> </td>		10 不燃物その他 <td colspan="2">—</td>		—																																																																																								
D <td colspan="2">伐採木 <td colspan="2">01 フランジタンク本体 <td colspan="2">12 フランジタンク付属品 <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">—</td> </td></td></td>		伐採木 <td colspan="2">01 フランジタンク本体 <td colspan="2">12 フランジタンク付属品 <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">—</td> </td></td>		01 フランジタンク本体 <td colspan="2">12 フランジタンク付属品 <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">—</td> </td>		12 フランジタンク付属品 <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">—</td>		13		14		15		—																																																																																								
②		状態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																												
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																																																																																																						
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																																																																																																						
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																																																																																						

瓦礫類 · 伐採木管理票

計上No. 6013405 - 0014

作業主 管 欄 メモ	保管希望日時		2018年1月9日			(火)		10:00			承認		審査		作成			
	作業件名		1F-6M屋外計装品修理工事(第4回)															
	発生場所		5・6号機 C/B 2FL 計算機室ほか									2017/12/20		2017/12/20		2017/12/20		
	作業主管G		計装設備グループ					監理員			TEL							
	元請会社							担当者			TEL							
線量測定年月日		2017/12/15		測定者				測定器名		γシンチレーション			管理番号		FI-SG-210			
No.		保管物名			※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率		
1		機器類・制御盤類(筐、機器類ほか)			B. 03		D		A		3.5 m ²		0.3 μ Sv/h		0.3 μ Sv/h		無	
2											m ²							
3											m ²							
4											m ²							
5											m ²							
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																		

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号				2017/12/20	
廃2018	—	01	—		
調整後保管日時			2018年1月9日		10:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-019
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類（盤、機器類ほか）②	5	$\mu\text{Sv/h}$	6	$\mu\text{Sv/h}$			エリアC	2018/1/9 9:35	3.5	m ²			1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0003

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年1月9日	(火)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	地下貯水槽漏洩に伴う調査業務委託									
	発生場所	地下貯水槽No.1～3エリア			2017/12/19	2017/12/19	2017/12/19				
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2017/12/19	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-117				
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	A	0.5 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	0.5 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	3	不燃物その他	B	10	D	A	0.5 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	4	可燃物その他	A	04	D	A	0.5 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
5						m ²					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0232
				2017/12/20
調整後保管日時		2018年1月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	3 μSv/h		エリアO	2018/1/9 10:45	0.1 m ²			2
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/9 10:45	0.5 m ²			2
	3	1	不燃物その他 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/9 10:55	0.1 m ²			1
	3	2	不燃物その他 ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/9 10:55	0.4 m ²			1
	4	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/9 10:45	0.02 m ²			2

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		B	不 燃 物	01	難燃物	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010303 - 0019

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0238
				2017/12/20
調整後保管日時		2018年1月12日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	立入制限区域柵周辺フェーシング工事(Ⅰ期)									
	発生場所	正門南東エリア(構外、旧展望台への道路周辺)					2017/12/20	2017/12/20	2017/12/20		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-134		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2						m ²				
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/12 8:45	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010303 - 0019

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	立入制限区域柵周辺フェーシング工事(Ⅰ期)								
	発生場所	正門南東エリア(構外、旧展望台への道路周辺)						2017/12/20	2017/12/20	2017/12/20
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2017/12/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-134
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	コンクリートガラ			① ② ③	B 02 D B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	注:α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0239
				2017/12/20
調整後保管日時		2018年1月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止						m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木										
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013402 - 0056		
作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年1月9日		(火)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	5, 6T 空調機点検修理工事										
	発生場所	5・6号機 S/B B2FL 及び B1FL						2017/12/20	2017/12/20	2017/12/20		
	作業主管G	機械グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/12/19	測定者			測定器名	NaIシンチレーション		管理番号	F1-SC-081		
G 記 入 欄	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
		①	②	③								
	1	難燃シート類	C	02	D	B	0.01 m ²	3 μSv/h	1 μSv/h	無		
	2	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.01 m ²	3 μSv/h	1 μSv/h	無		
	3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.02 m ²	3 μSv/h	1 μSv/h	無		
	4	可燃物その他(皮手袋)	B	10	D	B	0.01 m ²	3 μSv/h	1 μSv/h	無		
メ モ	5	不燃物その他(空調フィルタ)	B	10	D	A	0.2 m ²	10 μSv/h	1 μSv/h	無		
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0241
				2017/12/21
調整後保管日時		2018年1月9日		9:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整してあります。よろしくお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-019
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
メ モ	1	1	難燃シート類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/9 9:50	0.05 m ²			2
	2	1	紙・ウエス類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/9 9:50	0.01 m ²			2
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/1/9 9:50	0.01 m ²			2
	5	1	不燃物その他(空調フィルタ) ③	5	μSv/h	10	μSv/h			エリアC	2018/1/9 9:50	0.2 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	02	03	04	05
				紙・ウエス類	プラスチック・ポリ・ビニール類	木材類	可燃物その他	—
				—	—	—	—	—
				06	07	08	09	10
B	不 燃 物	01	02	03	04	05		
		金属ガラ	コンクリートガラ	機器類・制御盤類	土砂類	塩化ビニール類		
		06	07	08	09	10		
		保温材	石綿含有物	ケーブル類	アスファルトガラ	不燃物その他		
C	難 燃 物	01	02	03	04	05		
		フランジタンク本体	フランジタンク付属品	—	—	—		
		06	07	08	09	10		
		ゴム類	難燃シート類	ホース類	難燃物その他	—		
D	伐 採 木	01	02	03	04	05		
		伐採木(幹・根)	伐採木(枝・葉)	—	—	—		
		06	07	08	09	10		
		—	—	—	—	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴			
		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013402 - 0056	
作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年1月9日			(火)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	5, 6T 空調機点検修理工事									
	発生場所	5・6号機 T/B 2FL 及び T/B屋上					2017/12/20	2017/12/20	2017/12/20		
	作業主管G	機械グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2017/12/13		測定者			測定器名	NaIシンチレーション		管理番号	F1-SC-097
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	① ② ③										
	1	ゴム類(Vベルト)	C	01	D	A	0.01 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
	2	紙・ウエス類(ダンボール)	A	01	D	B	0.01 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.01 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無		
4	金属ガラ(バルブ・保護管)	B	01	D	A	0.01 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無		
5	不燃物その他(ガラス管)	B	10	D	A	0.01 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無		
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0242
				2017/12/21
調整後保管日時		2018年1月9日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-019
2		ICW	F1-ICW-061
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	ゴム類(Vベルト)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/9 10:10	0.01 m ²			2
2	1	1	紙・ウエス類(ダンボール)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/9 10:10	0.05 m ²			2
3	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/9 10:10	0.05 m ²			2
4	1	1	金属ガラ(バルブ・保護管) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/9 9:50	0.01 m ²			1
5	1	1	不燃物その他(ガラス管) ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/1/9 9:50	0.01 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—				
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013403 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年1月12日		(金)	12:30		承認	審査	作成	
	作業件名	5・6R R/BHVAC系関連作業 【仮称】								
	発生場所	主排気筒脇、T/B屋上、RW/B屋上						2017/12/20	2017/12/20	2017/12/20
	作業主管G	機械グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/12/7	測定者			測定器名	NaIシンチレーション	管理番号	F1-SC-078	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
1	難燃シート類	C	02	D	B	0.2 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注:	α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	01	—	0243
				2017/12/21
調整後保管日時		2018年1月12日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年1月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-061
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/1/12 12:50	0.05 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 能			D:乾燥 W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。